

(2)良食味水稻早生優良品種候補「空育125号」

中央農業試験場稲作部 育種科

1.はじめに

北海道の基幹品種で最も食味の良い「ゆきひかり」は、60年から一般栽培され、その作付率は8.4%、61年11.8%と着実にのび道産米の食味向上に貢献している。しかし、「ゆきひかり」は成熟期がやや遅く、登熟性が劣るため多くの作付を望むことは困難である。したがって、良食味で登熟性の良い早生品種の育成が強く望まれていた。

2.育成経過

本系統は、早生、良食味、耐病性系統の「空育109号」¹⁾を母とし、中生・良質の「キタヒカリ」を父として交配し、鹿児島県で世代促進を図った雑種後代から育成されたものである²⁾。

3.特性の概要

本系統は、良質、良食味であり、いもち病耐病性および障害型耐冷性が強く、登熟性が良いが、耐倒伏性が劣る欠点を有する。

出穂期は「ともゆたか」と同じ中生の早であるが、成熟期は「ともひかり」と同じ早生の晩であり、「ともゆたか」「ゆきひかり」に比べ登熟性は良い。玄米品質は「ともひかり」並の良質で、玄米等級は「ともひかり」「ゆきひかり」等よりも良い。食味は「ともひかり」「キタヒカリ」より良く、「ゆきひかり」並である。いもち病耐病性はいずれの基幹品種よりも強く、「やや強～強」である。障害型耐冷性は「ともゆたか」「ともひかり」より強く、「やや強～強」である。耐倒伏性は「ゆきひかり」よりわずかに優る「中～やや強」である。

4.普及態度

主に道央地帯において、「ともゆたか」の全部および「ともひかり」の一部に替えて栽培し、「ゆきひかり」とともに、本道産米の声価向上を図る。しかし、本系統は、耐倒伏性がやや劣るため、多肥栽培は厳に慎むことが肝要である。

表1 空育125号の育成地における特性概要

形質 /品種名	早晩性		草型	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	登熟 日数	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m)	芒性	障害型 耐冷性
	出穂期	成熟期									
空育125号	中の早	早の晩	偏穂数	7.30	9.10	42	64	16.7	608	稀・短	や強～強
ともゆたか	中の早	中の早	穂数	7.31	9.14	45	62	17.1	625	稀・短	や強
ともひかり	早の晩	早の晩	偏穂数	7.30	9.11	43	60	18.3	558	無	や強
ゆきひかり	中の早	中の早	偏穂数	8.1	9.15	45	63	17.8	578	中・短	強

形質 /品種名	耐倒伏性	葉いもち 病耐病性	穂いもち 病耐病性	収量 (kg/a)	玄米 千粒重	玄米 品質	検査 等級	食味	アミログラム 最高粘度	アミロー ス含量
空育125号	中～やや強	や強～強	や強～強	49.7	21.1	上下上	1中	上中	563B.U.	18.5%
ともゆたか	や強	中	中～やや強	49.6	22.6	上下上	2下	中上	495	20.9
ともひかり	や強	中	中～やや強	48.5	21.0	上下上	1中	上下	514	18.4
ゆきひかり	中	中	中～やや強	46.2	20.4	上下上	1下	上中	545	18.5

表2 「空育125号」の食味官能試験(育成地)

系統名 品種名	白さ	つや	なめら かさ	軟ら かさ	粘り	総合 評価	試食 人数	試食 月日	生産年 場所
空育125号	0.00	0.13	0.13	-0.13	0.25	0.25	8	1986 12.1	1986,稲作部 泥炭土、 中肥、標肥
ともゆたか	-0.13	-0.63	-0.25	-0.25	-0.63	-0.63			
ともひかり	0.13	-0.13	0.00	-0.38	0.25	0.13			
空育125号	0.14	0.00	-0.14	-0.14	0.00	0.14	7	1986 12.8	1986,稲作部 グライ土、 成苗、標肥
ともゆたか	-0.71	-1.14	-1.57	-1.86	-1.71	-2.00			
ともひかり	-0.14	-0.29	-0.43	-0.71	-0.71	-0.71			
空育125号	0.29	0.00	0.14	0.29	0.14	0.43	7	1986 12.9	1986,稲作部 泥炭土、 成苗、標肥
ともゆたか	-0.86	-1.14	-1.71	-1.57	-1.71	-1.71			
ともひかり	-0.14	-0.43	-0.14	-0.29	-0.57	-0.57			
空育125号	0.14	0.00	-0.14	0.38	-0.29	-0.14	14	1986 11.6	1986,上川農 試、中苗、標肥
キタヒカリ	0.21	-0.07	-0.29	-0.23	-0.36	-0.36			

基準:「ゆきひかり」

- 1)「巴まさり」×「キタヒカリ」の後代から得られた良食味系統である。
- 2)本系統は系統選抜試験(F₅)でアミロース含量および蛋白含量による選抜を加えた。
- 3)表の項目中、数値は中苗標肥区(1984、1985年)の平均値である。

[目次へ戻る](#)